

**弊社製 油入しゃ断器及び油入開閉器のPCB含有について**

1989年まで製造を販売しておりました油入しゃ断器及び油入開閉器は、当時の商習慣に従い弊社では絶縁油を注入せず出荷しておりました。

従いまして、当該品の絶縁油の性状に関しましては、弊社では判断できません。

弊社が取扱説明書等にて JIS C 2320 に規定される 2 号絶縁油相当を使用していただくように記載しておりましたので、当社指定の 2 号絶縁油を調達し、注油されていたものと推定されます。

PCB 関連の詳細につきましては、環境省や日本電機工業会（JEMA）のホームページをご参照いただきたくお願い申し上げます。（検査機関も紹介されております。）

環境省ホームページ : <http://www.env.go.jp/recycle/poly>

JEMAホームページ : <http://www.jema-net.or.jp>

検査機関の紹介 : [http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/pcb/p\\_6-2.html](http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/pcb/p_6-2.html)

下表に、弊社が 1989 年まで製造販売しておりました油入しゃ断器及び油入開閉器の一覧です。ご参考としてください。

名 称		形 式	油量 (L)	定 格
高圧油入開閉器		ODS-HS <sub>2</sub>	17.0	7.2 kV 100A
		ODS-6	23.0	7.2 kV 100~400A
		OD	23.0	7.2 kV 100~400A
高圧油入開閉器 (地絡保護付)		OSG-HS <sub>2</sub>	18.0	7.2 kV 100A
高圧油入開閉器 (電磁操作式)		OS-M	24.0	7.2 kV 100~200A
		OG-M		
コンデンサ用高圧油入自動開閉器		OD-TM	32.0	7.2 kV 200A
		OD-SMC		
柱上油しゃ断器	地絡及び過負荷保護形	OE-53	26.0	7.2 kV 100~200A
		OE-104		
		OE-10 <sub>3</sub>		
		OE-2		
		OE-5		
	過負荷保護形	OT-53	26.0	
		OT-104		
		OT-10 <sub>3</sub>		
		OT-2		
		OT-5		
	地絡保護形	OG-53	26.0	
		OG-104		
		OG-10 <sub>3</sub>		
		OG-2		
		OG-5		
過電流ロック機構付高圧油入開閉器 (地絡保護形)	OG-1	24.0	7.2 kV 100~200A	
	OG <sub>3</sub>	18.0	7.2 kV 100A	

**弊社製 油入しゃ断器及び油入開閉器からの絶縁油の採取方法**

弊社製 油入しゃ断器及び油入開閉器から絶縁油を採取する場合は、下記の手順で行ってください。

1. 製品が腕金（腕木）に取り付けたままの場合は、油タンクの下にリフターやジャッキ等を用いて支えておく。（降柱してあり、地上や台の上に置いてある場合は、油タンクを支える必要はありません。）
2. 製品の本体と油タンクを締付けている四本のボルト及びナットを緩める。
3. 四本の締付けの内、短いボルト二本は取り外す。
4. 四本の締付けの内、長いボルト二本の上部のねじからナットが脱落するまで緩める。
5. リフターやジャッキ等をゆっくりと下降させる。（降柱してあり、地上や台の上に置いてある場合は、ゆっくりと本体を持ち上げる。）
6. 抜き取り用のスポイト等で、分析に必要な油量を採取する。
7. 元の状態に戻す。

本図は、代表してODS-HS<sub>2</sub>形を示したのですが、他の機種に於いても、油タンクの締付け方式は同様です。

